



第2次 小山市 文化芸術振興ビジョン 2017~2021

心豊かで活気のある暮らしやすい「文化都市小山」

平成29年3月
小山市

はじめに

小山市は、2016年リオ五輪で金・銀・銅の3個のメダルを獲得した競泳の萩野公介選手、二大会連続で銅メダルを獲得した柔道の海老沼匡選手をはじめとする全国・世界を舞台に活躍する優れた「人」、2012年世界のラムサール条約湿地に登録された「渡良瀬遊水地」をはじめとする豊かな「自然環境」、2010年世界のユネスコ無形文化遺産に登録された本場結城紬をはじめとする古い「文化」と「歴史」を有し、特に戦国の乱世に終止符を打ち泰平の世、徳川三百年の栄光の道筋を付けたといわれる天下分け目の軍議「小山評定」が行われた「開運のまち」であり、東京圏からわずか60kmの新幹線が停車する鉄道・国道ともに交差する交通の要衝であり、これからも大きく発展する可能性を有する栃木県第2の「南都」です。



価値観が多様化する近年の社会情勢の中で、創造的で多様な活動である「文化芸術」は人々の豊かな想像力や感受性などを育み、個々の表現力を高め、意欲的かつ有意義に生きるための糧となることから潤いのあるまちづくりに欠かすことのできないものであります。

小山市では、平成18年4月に施行した小山市文化芸術振興条例に基づき、平成19年3月に「小山市文化芸術振興ビジョン」を策定しました。これを指針として心豊かで活気のあるくらしやすい「文化都市小山」を基本理念に掲げ、文化振興に努めてまいりました。

この度、これまでの成果と課題を検証し、具体的な施策の方向性を示すとともに、社会情勢の変化、本市を取り巻く環境の変化などを踏まえ、今後5年間の指針となる「第2次小山市文化芸術振興ビジョン」を策定いたしました。

今後、さらに市民文化を発展させ、市民の主体的な芸術文化活動を促進するとともに、連綿と続く小山の歴史・文化を大切に、それぞれの誇れる財産を保護し、次世代につないでいく『心豊かで活気のあるくらしやすい「文化都市小山」』の実現を目指し、豊かで活気のある「小山らしい」文化芸術の振興の指針として明示することにより文化芸術の推進をはかります。

結びに、本計画の策定にあたり貴重なご意見をいただきました「小山市文化芸術振興審議会」委員並びに多くの関係者の皆様に対しまして、厚く感謝申し上げますと共に、今後も本市の文化芸術の振興にご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成29年3月

小山市長 大久保 寿夫